

(事業内容) 旧高陵小学校の校舎を全て解体し、その跡地に禁野小学校の新校舎を建設する。
 (事業手法) 設計施工一括型デザインビルド(DB)方式
 (工期) 令和4年6月10日~令和8年7月15日
 (令和8年8月供用開始)
 (事業者) 前田組・浦辺設計共同企業体(JV)
 (事業費) 33億8580万円(契約金額)
 (国庫補助金) 約5億6300万円

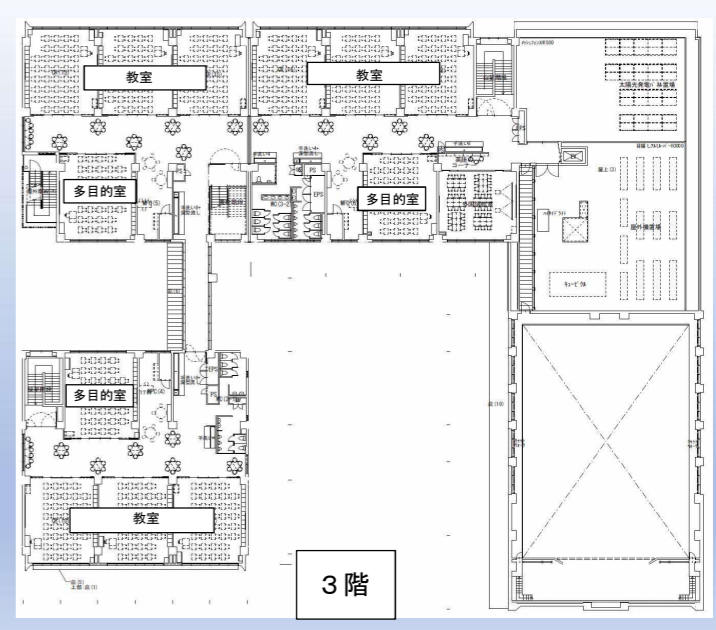
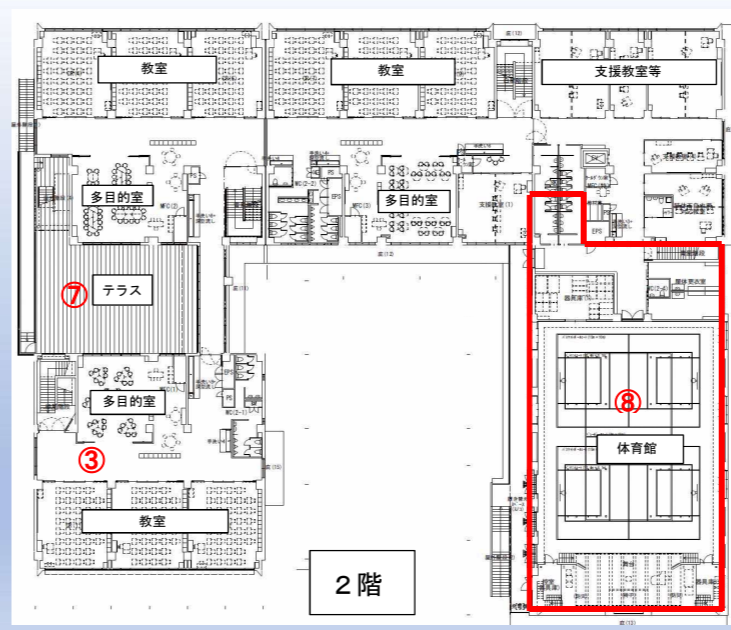
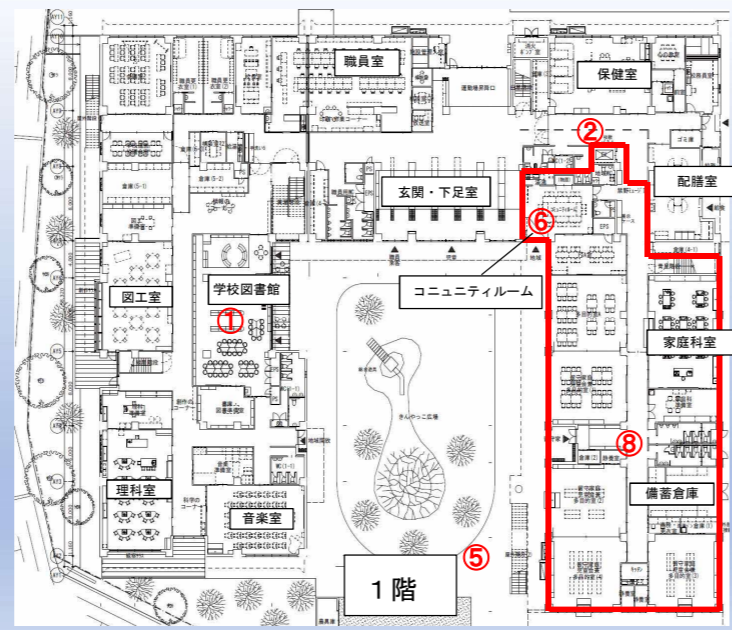
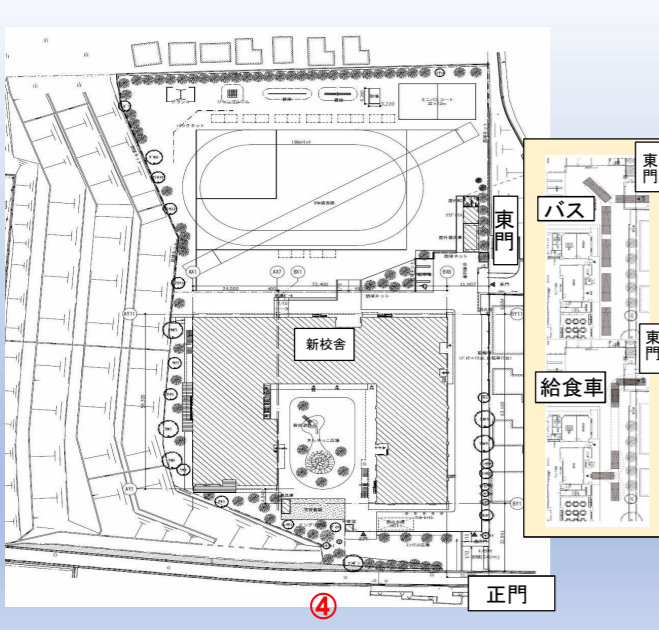
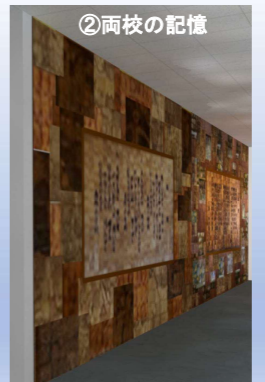
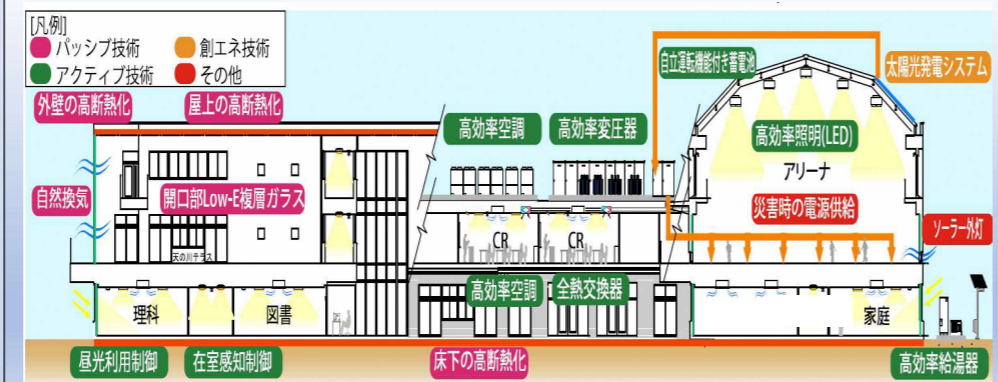
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
設計	基本設計		6月 実施設計	※現時点のスケジュールであり、現場状況等により変更となる場合があります。	
工事	旧高陵小学校校舎解体		6月 新校舎建設	7月末	
文化財調査	試掘	12月 5月末 8月	本調査 3月末		
年度毎 事業費	80,660,000	200,915,326	621,660,000	2,160,051,674	322,513,000
内 国庫補助金	-	-	約 113,000,000	約 450,000,000	-

- (主要要望)
- 【地域】
- 旧高陵小学校は避難所となる体育館が法面側に配置されていた。新校舎については出来る限り法面から離して欲しい。また、法面については、大雨等の影響により崩壊しないよう管理して欲しい。
 - 外部から直接出入り出来る地域活動室を確保して欲しい。
 - 十分なスペースを確保した防災備蓄倉庫を設けて欲しい。
 - マンホールトイレを設けて欲しい。
 - 健全な桜の木は残して欲しい。
- 【学校】
- 可動間仕切を活用することでフレキシブルな会議室等を設けて欲しい。
 - 支援教室、通級教室は、学年教室と同じフロアにして欲しい。
 - 天の川テラスについては、安全性の観点から手すりを二重にして欲しい。
 - 東門からバスや給食車が安全に入出入りできるようにして欲しい。

新しい学校づくり協議会(毎月1回開催): 両校区コミュニティ会長、禁野小PTA会長、学校長、本市(教育・施設)、JV
 関係課会議(毎月1回開催): 学校長、本市(教育・施設)、JV
 定例会議(毎月2回開催): 本市(施設)、JV

特色

- ZEB Ready 達成
従来必要なエネルギーを高効率設備や高断熱化の導入により、50%以上の省エネを達成することで、脱炭素社会の実現に貢献する学校とする。
- 木材利用
本市友好都市である四万十市産の木材を内装材として効果的に活用することで、温かみのある空間づくりをする。昭和57年に両市の中学生が「青少年友好の森」として植樹したヒノキについても活用する。
- 学校施設全体が学びの場
文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」(令和4年3月)に基づき、これまで教室と廊下で構成されてきた学校施設の固定概念から脱し、学校施設全体を学びの場として創造する。



※現時点での設計内容であり、今後の協議により変更となる場合があります。

枚方市立禁野小学校新校舎整備事業

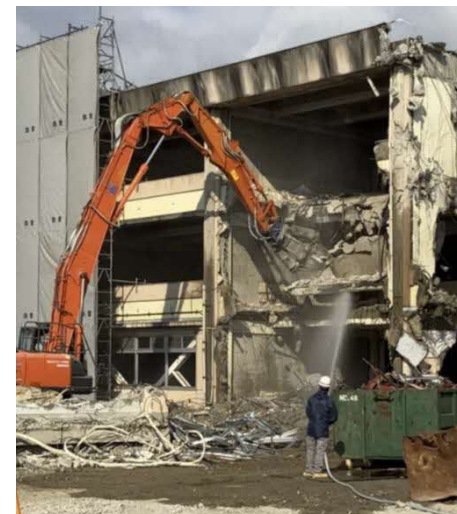
【旧高陵小学校校舎の解体状況】

解体工事前

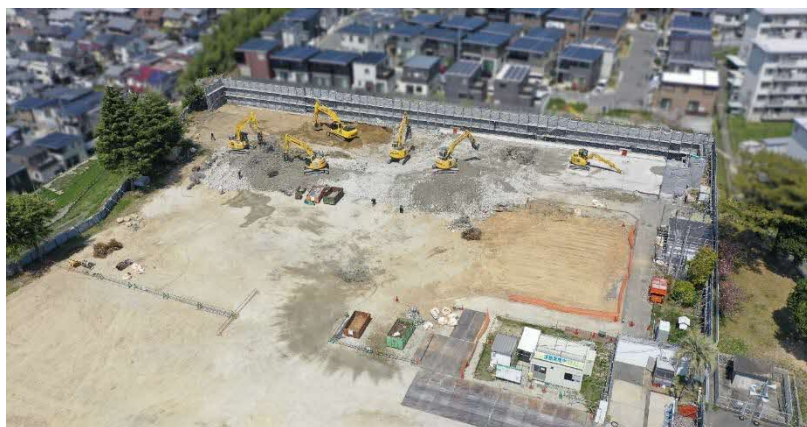


■騒音・振動・粉塵対策

～重機のアタッチメントにクラッシャー使用、散水しながらの破碎



令和5年4月時点



■工事用の塀に子供たちの絵を掲示

